

# 大阪都市文化研究会会報 第179号

2010年12月 - Dec 2010

Tobunken News Letter from Urban Culture & Folklore Society of OSAKA

( ■：都文研主催行事 □：外部主催行事 )

## お知らせ

## information

### ■研究大会(＋忘年会)

日時：12月18日(土) 午後2時  
会場：大阪経済大学「地域活性化支援センター」(C館6階)

#### <予定内容>

北摂の新しいコンセプトについて  
ー豊中市での或る交流事業より(仮)  
弘津 興太郎氏

『浪華風流繁昌記』からうかがう水都大阪(仮)  
鷲原 知良氏

スライドトーク(詳細は当日)  
柏原 誠氏

内容は、発表者の都合等により随時変更になる場合があります、よろしくご了解ください。

#### ※来場に当たってのご注意

正門守衛室にて「大阪都市文化研究会」で地域活性化支援センターに来訪した旨申し出て、建物への入り方等、指示に従って下さい。

#### ※交通案内

○地下鉄今里筋線「瑞光4丁目」下車徒歩3分

○阪急京都線「上新庄」下車、徒歩15分または市バス5分(「大阪経大前」下車)

○市バス37系統(大阪駅前、扇町、天六經由井高野車庫行)「大阪経大前」下車徒歩2分

○ネットでの確認はこちら

<http://www.osaka-ue.ac.jp/>



※ ビジター歓迎。ご家族、ご友人お誘い合わせでご参加ください。

※ なるべく事前の参加表明をお願いします。

## 報 告

## Report

### ■秋の歩く会 「丹波篠山の秋を満喫」

催行日：2010年11月23日(火)

きょうの篠山は、晴れのち曇り、時折冬近い小雨ぱらつく気象でした。

少し寒かったです。市内各所の紅葉がとりわけ美しく良い、歩く会になりました。

篠山の現在を見るという趣旨として、古い町並みが観光資源としてよく活かされて、「がんばってる」と思います。

また無粋な疑似レトロな建物がないのも、印象をよくします。

秋冬は、ぼたん鍋と黒豆という人気グルメが、観光客を集めています。

今は大阪から快速電車で1時間という、交通の便

も改良されました。

ただ旧市街までは、JR 篠山口駅からバスで20分ほどかかります。

また市街地の観光客は、夕方5時の日没を過ぎると、かき消すように帰ってしまい、観光客相手以外の食べ物屋は皆無に近かったです。

古い町家を改造したカフェ(土日祝日のみ営業)は面白かったです。

ちょっとこれに刺激を受けて、池田の長屋である拙宅で、忘年会をしようかということになりました。

【弘津興太郎 会員】

今年の秋の歩く会は、これまで何度も候補に挙げられながら実現しなかった丹波篠山のまち歩きと

なった。

12時半に篠山口駅着、駅の橋上化で、隅っこになってしまった格好の、過去は駅弁も販売していた「浪花食堂」で、豚汁定食 580 円の昼食をとる。売店の窓口はホームに接しているが、食堂には一旦外に出て駐車場の片隅のようなところから入る。JRの乗務員が1人だけ、乗務の合間を見て昼食をとっている。メニューも、丼物、麺類、定食も豚汁のみ。かんとだきもうまそうだったが、1つ130円はちと高いのでパス。

小さいころ、DD51の牽引する客車で大阪一福知山4時間近くかかっていたころ、ここで駅売りの駅弁を買って食べたのを思い出す。時代の移り変わりが身にしみる風景。

1時に集まったのは、鷺原、弘津の両氏と私の3人。

JRバスを引き継いだ神姫バスで、市内へ。途中、合併でつくったハコモノの一つの図書館にも寄り道しながら、約20分。市内は、折しも、紅葉とお城での戦国武将コスプレ大会で大賑わい。

観光案内所で、地図を入手、奥さんから依頼の黒豆パンも購入し、義務を果たした後、城の方には行かず、春日神社で紅葉をめ、今は、歴史美術館になっている旧地方裁判所支部の建物を見学(木造で現存最古の裁判所の建物)、まちの東へ進



路をとり、昔の「本篠山」の駅前通だったであろう商店街で、折り畳み自転車 Brompton に乗った三原氏と合流。

東の王地山へ。高台から篠山の市外を眺め、まけきらい稲荷を参った後、20年前に復興した陶器所のアトリエを見学、敷地内には窯もあった。

河原町の妻入り商家群を見てから、そのうちの民家カフェで、おっさん4人でチャイを飲みながらほっこりする。室内は暖房も入っていて冬を感じた。弘津さんの書き込みにもあるとおり、弘津さん宅での忘年会企画などを話す。

日もとっぷり暮れ、土産物屋を冷やかしながら、お城の南を回って、武家屋敷へ。地方の観光地は夜は静まりかえる。地方の観光地の日帰り化の問題を議論しつつある。

昼間はあんなに賑わっていた中心地も、ほとんど店じまい。飲食店もこれから晚ご飯というのに、ほとんどが営業終了。数件の地元の店だけが開いている。観光会社なんかやっているアルバイトの店などは、昼間だけ稼ぐだけ稼ぐという構造なのだろう。観光地化の質が問われる。その分落ち着いて、本当の街の姿がわかるという解釈もできるが。

いかにも地元食堂の「大手食堂」の系列でちょっとよそ行きの店、「大手新丁」に入り、ポタン鍋、モミジ鍋、シシ肉、山芋、黒豆、等々丹波の秋の味覚を満喫。地酒「鳳鳴」も美味。

20時12分発の最終一本前のバスは、我々と、コスプレ大会に出場していたのであろう女子2人。片方の子はショートヘアで、1人称を「おれ」といていた。何気なしに会話が耳に入る。死ぬときは、真っ白な雪景色の中、雪を血染めにして、が憧れだそう。死ぬときはきれいもきたないもないだろうに、とは思うのだが。

9時前の快速で、大阪まで1時間。便利になったなあ。

【柏原誠会員】

【参加者】4名(柏原・弘津・三原・鷺原)

## 編集後記

「復刊ドットコム」という絶版本のリクエストを募るサイトがある。もう何年も経っていてほとんど忘れかけていたのだが、ここに票を入れていたとある本がめでたく復刊となった。出版社を変え文庫化での刊行とのことだが、それも棚に並ぶのはほんの束の間のことだろう。たまには新

## Editors' Note

刊を買うことにして、年末年始はこの晦渋な西洋美術史の、字面だけでも追ってやろうかと思っている。

今月は研究会の企画が整いました。こちらも本当に久しぶり。どうぞ皆さんふるってご参加ください。

◆編集・発行 大阪都市文化研究会事務局  
〒552-0003 大阪市港区磯路3丁目 11-17  
TEL&FAX : 06-6572-7562 PHS: 070-5042-8538  
E-Mail : PXA01331@nifty.ne.jp  
郵便振替 : 00950-5-115063  
『大阪都市文化研究会』

メーリングリスト: [tobunken@e-utopie.org](mailto:tobunken@e-utopie.org)  
ホームページ: <http://tobunken.jimdo.com/>

◆発行年月日 2010年12月06日(原則毎月発行)